

新型コロナウイルス流行期の超過死亡と関連要因に関する 主張への懸念

スズキ サダオ、オジマ トシユキ、ナガタ テサト、ヤツヤ ヒロシ、ワカイ ケンジ
鈴木 貞夫^{*}、尾島 俊之^{2*}、永田 知里^{3*}、八谷 寛^{4*}、若井 建志^{5*}

Key words : 新型コロナワクチン, 超過死亡, 平均寿命, エコロジカル研究, 因果関係

一般書籍やインターネット上に掲載される論説の多くは、専門学術誌に掲載される原著論文のような科学性を担保するための専門家による査読を経ておらず、その結論が導かれた研究方法に科学的妥当性が保証されていない場合もある。そうした書籍等からの誤った、あるいは確度の低い情報に基づく断定的な言説は、一般市民の意思決定を歪める危険性があると言える。この意味において、書籍「検証・コロナワクチン：実際の効果、副反応、そして超過死亡¹⁾ (以下、当該書籍)」の内容について、その解釈論に疑念を抱く専門家として公衆衛生学、疫学を専門とする立場から意見を述べたい。なお、本稿においては、第8章の「超過死亡」と「相関解析」に議論を限定する。

まず、当該書籍の第8章タイトルでもある「超過死亡」だが、この用語の概念や定義が明確になされておらず、事実とは異なる推察に繋がっている可能性がある。例えば当該書籍196ページに「2021年に戦後最大の超過死亡が観察された」という記載がある。しかし、2021年の平均寿命(男性81.47歳、女性87.57歳)は、2020年(男性81.64歳、女性87.74歳)よりはわずかに下がったものの、男女とも2020年に次ぐ長さで、新型コロナウイルス感染症世界的流行以前の2019年(男性81.41歳、女性87.45歳)や、それよ

り前のどの年より長かった。つまり、当該書籍における超過死亡に関する記述は観察されている平均寿命の推移と矛盾する。概念としての「超過死亡」は、年齢ごとの死亡率の上昇や、それに伴う寿命の短縮を示すものである。戦後最大の死亡数となった主な原因は人口の高齢化であると考えられる。人口集団の年齢構成のデータが使用可能な状況での、それを考慮しない「指標としての超過死亡」の使用はふさわしくない。

次に、国を単位とした相関解析について述べる。これは、例えば当該書籍244ページの図8-30に「超過死亡とワクチン追加接種との相関」というタイトルで、国別のプロットが示されているような解析で、この例では相関係数が0.54であったとの記述を行い、ワクチン追加接種率が高い国では超過死亡が多いと主張している。このような「個人を単位としない関連研究」はエコロジカル研究(生態学的研究)と呼ばれ、研究仮説の創出には有用であっても、その結果をもって超過死亡とワクチン追加接種に因果関係があるという結論は導きだせない²⁾。これは集団での関連が、個人には必ずしも当てはまらないという生態学的誤謬(ecological fallacy)と呼ばれるエコロジカル研究の限界に関連している。すなわち、ワクチン追加接種によってその個人の死亡リスクが高くなるという推論を、その個人が属するグループの比較を基にしているためである。

エコロジカル研究のもつこの厄介な性質は、多変量解析(当該書籍245ページでは「重回帰分析」と記載されている)でも十分には解消されず、また集団を単位とするため交絡因子の調整も困難である²⁾。したがって、エコロジカル研究で「超過死亡に関わる要因を重回帰分析で検討」して結論づけることに科学的な妥当性は乏しく、超過死亡と関連するのは、

* 名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野

2* 浜松医科大学医学部健康社会医学講座

3* 岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野

4* 名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学

5* 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学

連絡先：〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄

1 名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野

E-mail: ssuzuki@med.nagoya-cu.ac.jp

ワクチン追加接種回数のみとする国を単位とした解析結果のエビデンスレベルは低い。当該書籍で示されたエコロジカル研究には、観察単位としての国の選択や、変数の選択についての疑義も出されているが、そもそもの解析に妥当性がないため、ここでは細部についての言及はしない。ワクチン追加接種の効果や影響を明らかにするためには、個人データを用いた解析により、正しく、信頼できるエビデンスを得る必要がある。

冒頭でも記したように、一般書籍やインターネット上の論説は科学的な観点から厳正な査読を受けていない場合も多く、誤った内容が含まれる可能性がある。一般市民の意思決定に際して、また、公衆衛生や医療関係者の市民への助言に際しての資料とすべく、ここに専門家として意見を表明することとした。

文 献

- 1) 小島勢二編著. 第8章 超過死亡. 検証・コロナワクチン. 東京：花伝社, 2023 ; 195-247.
- 2) 岡本和士著. 第6章 分析疫学, 6-1 生態学的研究と横断研究. 日本疫学会監修. はじめて学ぶやさしい疫学. 東京：南江堂, 2018 ; 50-52.